

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年5月10日

提出区分	実績	整理番号	10	課題区分	C			
横断的な課題	With/Afterコロナ時代においても選ばれる持続可能な山岳観光地域づくりの推進							
地域重点政策	2 四季折々に訪れ、北アルプスと安曇野の自然を満喫できる観光地域づくり					北アルプス地域振興局		
実施機関	北アルプス地域振興局			担当課	所属	総務管理・環境課		
事業名	北アルプス北部山域イメージアップ事業				電話	0261-23-6563		
				E-mail	kitachi-kankyo@pref.nagano.lg.jp			
事業概要等	目的 (目指す姿)	登山者等のマナー向上を図り、北アルプス北部山岳地域のイメージアップを目指す。						
	現状と課題	<p>当管内の国立公園内は山岳関係者の活動も活発であることから、他の山域に比べ比較的きれいに保たれているといわれている。また、他の関係団体でもマナー向上の啓発に取り組むようになり入山口施設等で啓発広告物が掲示されはじめている。</p> <p>しかしながら、依然として規制ロープを超えての踏み込み行為、ゴミ捨て等のマナー違反者への注意喚起が多く報告されている。(令和3年度報告件数: 1,027件)</p> <p>引き続き山岳関係者の協力を得ながら、登山者等のマナー向上に取り組むことが必要である。</p>						
	内容 (変更後の内容)	<p>令和4年度版は表面は従来の「国立公園の利用上のマナー」のピクトグラムに戻し、その場で注意喚起しやすい内容にする。裏面のデザインを別の山岳風景写真に変更する。</p> <p>(1)登山者マナーカードの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーディングカードサイズのカードを34,000枚作成する ・表面を「国立公園の利用上のマナー」のピクトグラムに変更 ・裏面を別の山岳風景写真に変更 <p>(2)配布方法、配布箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山小屋、登山案内所での配布 ・大町市、白馬村、小谷村観光案内所および登山用品店での配布 ・自然保護レンジャーによる手渡し ほか 						
	事業期間	令和4年9月		～	令和5年3月			
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考				
	マナーカード作成費	マナーカードの印刷	209,066					
	郵送料	配布者への郵送	46,880					
	合計		255,946					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	マナーカード作成、配布数		34,000	34,000	● 達成			
	マナー違反者への注意喚起報告件数		R3件数以下	616	○ 一部達成 ○ 未達成			
事業実績・成果	<p>【マナーカードの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8種類 34,000枚 ・内訳: 大町市(烏帽子岳4,300枚、船窪岳4,300枚、鹿島槍ヶ岳4,300枚)、白馬村(白馬三山5,100枚、白岳4,300枚、小蓮華山4,300枚)、小谷村(雨飾山3,900枚、鎌池3,500枚) <p>【マナーカードの配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山小屋29軒、ビジターセンター、登山案内所6箇所、各市村観光案内所での配布(8,570枚) ・長野県自然保護レンジャーによる配布(21,120枚) ・管内アウトドア用品取扱店での配布(4,230枚) <p>【マナー啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードを利用しての登山者への啓発は、口頭のみ比べ受け入れられ易い傾向にある。 ・アウトドア用品取扱店での配布箇所を増加したことにより、登山者以外の野外活動に関心のある観光客への自然保護啓発に繋がった。 							
	今後の方向性	登山者のみならず、野外活動に関心のある観光客への自然保護啓発にも効果的であることが確認できた。Withコロナ時代を迎えつつあり入山者数は増加傾向を示していることから、改めて山小屋関係者などを通じて入山者に対する啓発活動に重点をおいていきたい。						